

DV 合成スラブ

1. 概要

DV 合成スラブ工法は、DV 板と称する一対の V 形リブを持ったプレストレストコンクリート構造の合成床用の工場製品である。この DV 板は高強度コンクリート (500 kgf/cm²) を使用し、この上面に場所打ち鉄筋コンクリートと合成させ、優れた一体性のある床面剛性を形成することができる。

〈特長〉

- 1) スラブの型枠・支保工を無くした省力化工法。
- 2) 設計荷重に対して、ひびわれを生じさせない。
- 3) DV 板の平均厚さは 6 cm と薄く、溝部と表面の凹凸仕上げにより合成スラブの一体化に優れる。

〈用途〉

スパン 3.5 m~6 m の範囲で、事務所、マンション等から、積載荷重の大きい物流倉庫に用いられる。

2. 規格

形状寸法を図-1 に、耐荷性能を図-2 に示す。

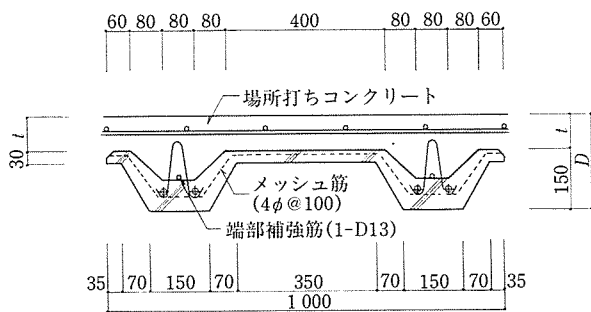


図-1 DV 合成スラブ断面図

3. 設計および製造

〈設計基準, 設計方法〉

DV 板コンクリート設計強度 : $F_c=500 \text{ kgf/cm}^2$
 場所打ちコンクリート設計強度 :

$$F_c=210 \text{ kgf/cm}^2$$

構造種別: パーシャルプレストレス (PPC 構造)
 設計方法: 一方向性床板の両端固定。設計方法で、端部スラブ筋を決定し、両方向ともスラブ筋の配筋を行って、一体なスラブとする。

4. 施工

場所打ち工法の梁と DV 板の取合い部詳細を図-3 に示す。

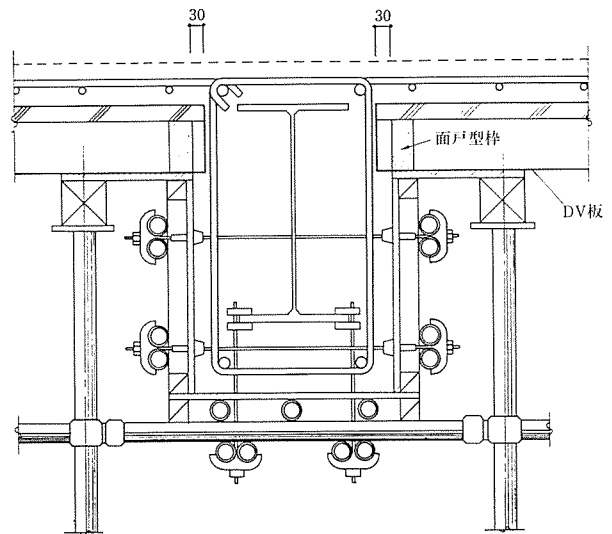


図-3 場所打ちコンクリート梁使用の取合い詳細図

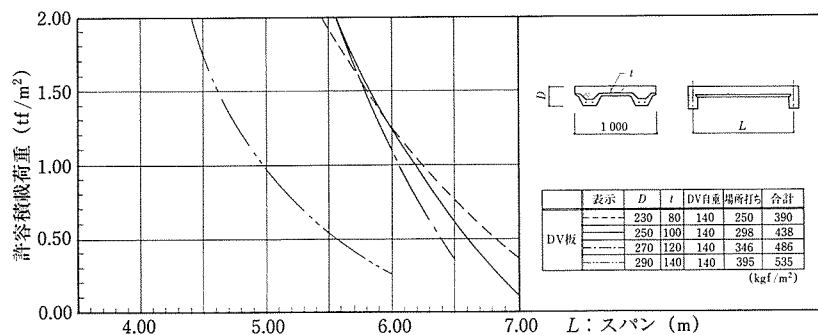


図-2 DV 合成スラブ許容積載荷重

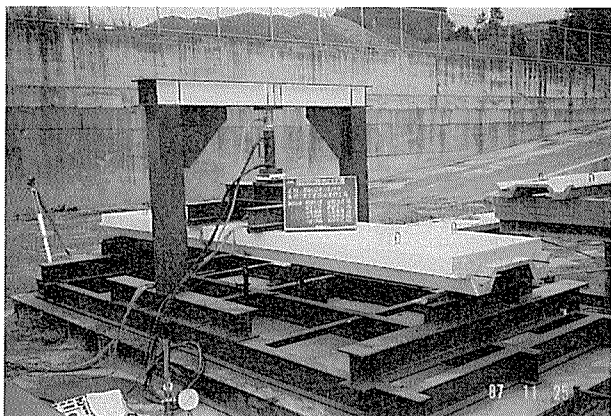


写真-1 DV合成スラブ実験

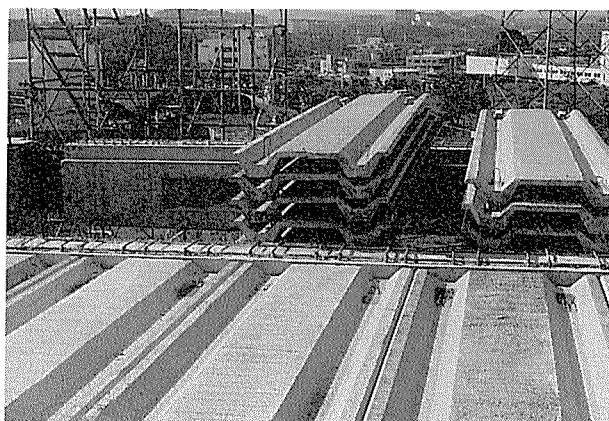


写真-2 DV板の架設



写真-3 名古屋港国際総合流通センター
施工状況

5. 施工実績 (施工床面積)

・ 総合電子(株)多摩製作所	3 546 m ²
・ 福山通運(株)市川営業所	21 855 m ²
・ 日立物流神奈川ハイテクセンター	10 695 m ²
・ 日本軽金属(株)船橋倉庫	10 303 m ²
・ アサヒビール(株)茨城工場	19 216 m ²
・ 武蔵野倉庫	17 245 m ²
・ 伊勢丹所沢センター	48 200 m ²

・ JR 東京貨物ターミナル A 棟	58 000 m ²
・ ワールド流通センター	200 000 m ²
・ 名古屋港国際総合流通センター	40 000 m ²
施工総床面積	57 万 m ²

問合せ先

黒沢建設(株)

〒160 東京都新宿区西新宿 8-20-2 アイリスビル
TEL 03-3371-3573 FAX 03-3365-1932